

概要

琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）

（令和3年度～令和12年度）

琵琶湖森林づくり条例および県産材利用促進条例に基づき「琵琶湖森林づくり基本計画」を策定し、森林・林業に関する総合的な施策に取り組んでいます。

計画開始から5年を目途に見直すこととされていることから、下記をはじめとする最近の社会経済情勢の変化と、新たに生じた課題の解決に向けた施策を実施するため、令和8年3月に中間改定を行いました。

- ・森林の公的管理を進める新たな枠組みの検討
- ・伊吹山等における局地的な土砂流出
- ・企業との共創による取組の広がり
- ・森林組合合併によるスケールメリットを活かした効率化
- ・木育拠点整備を契機とした木育の新たな展開 など



第2期計画に定める基本方向と基本方針

- 基本方向
琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりの推進
- 基本方針
琵琶湖の水源地林の恵みを活かし、皆で支え育む森林づくり
やまの資源をフル活用した収益の最大化

各方針に基づく基本施策

1 森林づくり～多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくり～

- ◇適切なゾーニングに基づく森林づくりの推進
※「ゾーニング」…重視する機能ごとに森林を区分けすること。
- ◇災害に強い森林づくりの推進
- ◇生物多様性の保全

3 産業づくり～森林資源の循環利用による林業の成長産業化～

- ◇活力ある林業生産の推進
- ◇県産材の加工・流通体制の整備
- ◇あらゆる用途への県産材の活用
- ◇人口減少社会を見据えたICT等を活用した林業・木材産業の競争力強化

2 地域づくり～多様な主体との協働により進める森林・林業・農山村づくり～

- ◇多様な主体による森林づくりの推進
- ◇森林の整備、林業の振興と農山村の活性化の一体的な推進

4 人づくり～豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくり～

- ◇林業の担い手の確保・育成
- ◇次代の森林づくりを担う人々の理解の醸成

※琵琶湖森林づくり県民税を活用した施策の推進について

琵琶湖森林づくり県民税は、琵琶湖森林づくり基本計画を推進するため、琵琶湖と森林の関係を重視しながら公益的機能の高度発揮に向けた環境を重視した森林づくりや、森林に対する県民の理解・関心を深め、県民の協働による森林づくりの促進に向けた「琵琶湖森林づくり事業」の展開に活用しています。

本県で展開する森林づくり

本県独自の施策

環境重視・県民協働の視点に立った施策
琵琶湖森林づくり県民税を充当

その他の林業施策

- ・林業振興対策
- ・森林組合振興対策
- ・木材産業強化対策 など

国全体の施策

森林経営管理法に基づく施策
森林環境譲与税を充当

その他の法令に基づく施策

- ・治山事業
- ・林道事業 など
- ・造林事業 など

琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりの推進

琵琶湖森林づくり基本計画に基づき、「琵琶湖の恵みを活かし、皆で支え育む森林づくり」「やまの資源をフル活用した収益の最大化」を基本方針として、多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくりや、多様な主体との協働により進める森林・林業・農山村づくり、森林資源の循環利用による林業の成長産業化や人づくりに取り組み、琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりを推進します。

森林づくり～多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくり～

●適切なゾーニングに基づく森林づくりの推進

多面的機能を重視した森林づくり、主伐・再造林の促進等による持続可能な森林づくりや花粉発生源への対策、市町と連携した森林経営管理制度の推進を図ります。また計画的な除間伐等による森林吸収源対策の促進等、地球温暖化防止に貢献する森林づくりを推進します。



若く生育旺盛な森林（再造林後）

●災害に強い森林づくりの推進

山地災害の復旧や着実な治山施設の整備により災害の未然防止に努めるとともに、ライフライン沿いにおける危険木除去等の減災に資する森林整備等を推進します。また水源林の巡視や土地利用の監視などにより適切な管理を推進します。



風倒木等被害の対策（予防伐採）

●生物多様性の保全

生物多様性が保全され、多様な動植物が生息・生育する環境に配慮した豊かな森林づくりを推進します。

地域づくり～多様な主体との協働により進める森林・林業・農山村づくり～

●多様な主体による森林づくりの推進

企業や地域、NPOなど多様な主体の参画による森林づくりへの取組を支援します。また、森林の多様な価値を発信し、森林・林業の情報を積極的に提供することにより、森林づくりへの県民の理解を深め、主体的な参画を促進します。

さらに、令和4年に本県で開催された第72回全国植樹祭を契機とし、県民が一丸となって森林を「守る」「活かす」「支える」取組を進めます。



企業と協働による育樹活動の様子

●森林の整備、林業の振興と農山村の活性化の一体的な推進

森林の整備や木材生産を推進するとともに、地域資源の活用に取り組む団体への支援や、企業等が森林と関わる新たな仕組みづくりを行うことで、都市と「やま」をつなぎ、人や経済の循環を創出することで農山村活性化を推進します。



～やまで健康になる、やまを健康にする～
県民アクションガイド

産業づくり ～森林資源の循環利用による林業の成長産業化～

●活力ある林業生産の推進

林地の集約化を推進するとともに、路網整備や機械化等による素材生産の効率化を図り、林業生産活動の活性化を促進します。

●県産材の加工・流通体制の整備

県産材の生産情報の管理等による安定供給体制の構築や、ニーズに対応した県産材製品の供給体制の整備を図ります。

●あらゆる用途への県産材の活用

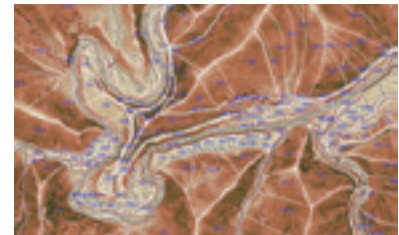
公共施設、住宅や民間施設などへの県産材の利用拡大を推進するとともに、木材の利用の意義等について県民の理解を醸成する木育を推進します。

●ICT等を活用した林業・木材産業の競争力強化

先進的な技術に基づく森林資源情報の把握や、原木流通情報のICT化等によるスマート林業の構築に努めます。



産地証明された県産材
「びわ湖材」



森林微地形図



効率的な木材生産



©Masaki Hamada(kkpo)

びわ湖材を使用した施設
(道の駅あいの土山)



びわ湖材を使用した施設
(びわこポートレース木のふれあい広場)

人づくり ～豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくり～

●林業の担い手の確保・育成

「滋賀もりづくりアカデミー」では、これから林業に就業を希望する人を対象に、安全かつ専門性の高い林業技術者の育成に取り組んでいます。(新規就業者コース)

また、既に森林で活躍する作業員や森林施業プランナー、林業行政を担う市町担当者を対象とした、知識や技術力向上のための総合的な人材育成を図るためのコースも設定しています。(既就業者コース、市町職員コース)

●次代の森林づくりを担う人々の理解の醸成

あらゆる世代への森林環境学習や木育を推進することにより、森林づくりへの理解を促進します。また森林整備の重要性などを普及啓発することにより、森林所有者への意欲の喚起に取り組みます。



「滋賀もりづくりアカデミー」
既就業者コースの様子



森林環境学習「やまのこ」事業



木育

◆滋賀県森林資源循環協議会を設立

滋賀県森林組合連合会と滋賀県林業協会、滋賀県木材協会、滋賀県山林種苗協同組合の4団体が、令和7年8月に、「滋賀県森林資源循環協議会」を設立されました。

同協議会は、主伐・再造林による森林資源の循環を図るために設立された森林・林業・木材産業の連携組織で、協議会内に、連携組織の協力金などによる「滋賀県みどりの資源循環再生基金」を設置して運営されます。

基金から森林所有者に、主伐・再造林に必要な経費の一部を助成し、従来の補助金を併せて活用することで、主伐・再造林と造林後10年間の下刈り等の保育の自己負担額がゼロになります。

この基金により、森林所有者の主伐・再造林の取組意欲を醸成し、森林資源の循環利用が図られることが期待されます。



◆琵琶湖企業の森コンソーシアムを発足

令和7年7月1日、中小企業から大企業まで、より多くの企業が簡単に「やま」へ関わることができ「琵琶湖企業の森コンソーシアム」を設立しました。

滋賀県のHPにおいて、参加者の名称や活動内容について紹介するほか、各々の取組や抱えている課題の情報交換や異業種間のコラボレーションの実現の場となるような交流会の開催等を予定しています。

企業や森林所有者、コーディネーター等、「やま」に関わる多様な主体に参加いただくことで幅広い情報交換を行い、「やま」との関わりを通じた気づきを得ていただくとともに、多様な主体の交流によって始まる新たなつながりを契機としてみなさんとの協働による森林づくりを一層推進していきます。



高島市と共催したキックオフイベント
「琵琶湖企業の森フォーラム」

◆木育施設「しがモック」が令和7年8月24日にオープン

暮らし・森・琵琶湖・人・世代をつなぐ「しが木育」のコンセプトのもとに、木育施設「しがモック」を整備しました。

県では、令和5年4月に木育の基本的な方針である、つなぐ「しが木育」指針を策定しました。その中で、「子どもから大人まであらゆる世代が、木とふれあい、木に学び、木と生活することにより、暮らしと森と琵琶湖のつながりを理解し、豊かな心を育む取組」を「しが木育」としています。

整備に先立ち、木育に取り組んでいる方や幼児教育の関係者等と、ワークショップや木育施設の視察を通じて新しい施設の構想を検討し、みんなの思いを形にしてきました。

室内には、滋賀県産の木材「びわ湖材」をふんだんに使用し、山や琵琶湖など滋賀の自然をイメージした遊具を設置しています。また、県内の木工家が手がけたおもちゃや遊具も多数取り入れ、木のぬくもりを感じながら楽しく遊べる空間となっています。木とふれあい、遊びながら学ぶ「しが木育」を、ぜひ体験してください。

